

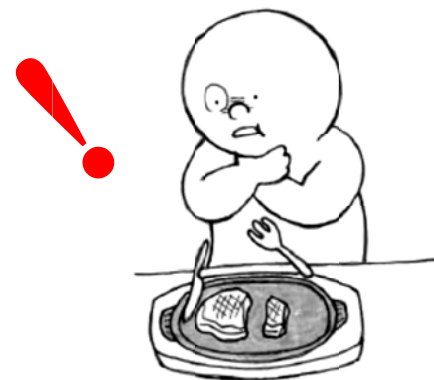
気道異物の除去方法

○口やのどなどに異物（食べ物など）が詰まっている場合に、異物を取り除く方法は、次のとおりです。

傷病者の反応（意識）がある場合

傷病者に「のどが詰まったの？」とたずね、声が出せず、うなづくようであれば窒息と判断し、直ちに行動しなければなりません。

- 119番通報を周りの人に依頼するとともに、直ちに次の2つの方法を数回ずつ繰り返し、異物を取り除けるか、傷病者の反応がなくなるまで異物の除去を試みます。
- 傷病者が咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせます。咳ができれば、それが異物の除去に最も効果的です。



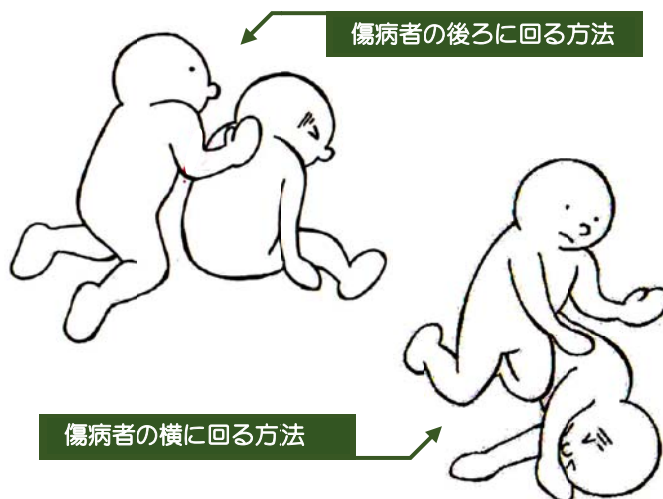
①腹部突き上げ法

- ・傷病者を後ろから抱えるように腕を回します。
- ・片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上で、みぞおちの十分下方に当てます。
- ・その手をもう一方の手で包むように握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。



②背部叩打法

- ・背中をたたきやすいように傷病者の横に回ります。
- ・手の付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたきます。



- 明らかに妊娠していると思われる女性や高度な肥満者には、腹部突き上げ法は行わず、背部叩打法のみを行います。
- 横になっている傷病者が自力で起き上がれない場合は背部叩打法を行います。
- 腹部突き上げ法と背部叩打法の両方が実施可能な状況で、どちらか一方を行っても効果のない場合は、もう一方を試みます。
- 腹部突き上げ法を行った場合には、腹部の内臓をいためている可能性があるため、実施したことを到着した救急隊に伝えてください。なお、119番通報前に異物が取れた場合でも病院での診察は必要です。

傷病者の反応（意識）がない場合

○傷病者に反応がない場合、あるいは最初は反応があつて応急手当を行っている際にぐったりして反応がなくなった場合には、直ちに通常の心肺蘇生の手順を開始します。

- 助けを呼ぶことや119番通報がまだ済んでいない場合には直ちにそれを行います。AEDも手配します。
- 心肺蘇生を開始します。
- 心肺蘇生を行っている際に、口の中に異物が見えた場合には、異物を取り除きます。
- 口の中に異物が見えない場合には、異物を探すのに時間を費やすことはせずに、心肺蘇生を行います。

